

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2015年10月1日～2022年7月31日の期間に当院にて胃がんと診断され、外科的治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	遺伝性びまん性胃癌の病的変異保持者拾い上げ基準に関する後向き研究			
③ 実施予定期間	2020年9月～2026年3月			
④ 実施機関	国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	田代 裕尊	所属	国立病院機構 呉医療センター 外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	田代 裕尊	所属	国立病院機構 呉医療センター 外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、家族歴、既往症、胃がんの臨床病期(部位、個数、大きさ、リンパ節転移の有無などの進行度)、手術所見、術前生化学検査、周術期化学療法、腫瘍マーカー、病理(深達度、分化度、個数、部位など)や免疫染色、MSI検査、再発などの予後に関する情報 ※上記診療情報は、研究終了後5年間厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 解析後のデータは当院の研究責任者によって保管されます。 ※当院の当院の研究者3名および広島大学の共同研究者3名が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	胃癌の中には、 <i>CHD1</i> -E-cadherinの生殖細胞系列の病的バリエーションを原因とする遺伝性びまん性胃癌(Hereditary Diffuse Gastric Cancer, HDGC)が胃癌患者の5-10%存在すると考えられています。それらの原因を持つ患者を同定することは、胃癌の早期発見治療・近親者のサーベイランスを行う上で非常に意義が高いと考えられます。			
⑨ 方法	2015年10月から2022年7月までに外科的治療が施行された呉医療センターの胃癌手術症例患者の中から、遺伝性胃癌の可能性のある臨床病理所見(50歳未満や多発胃癌、MSI検査、HER2、E-cadherinの免疫染色所見など)の症例の絞り込みを行います。当院の胃癌患者において推定される遺伝性びまん性胃癌の患者頻度、ならびに臨床病理学的な背景因子の解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020年9月17日		
	院長承認日	2020年9月17日		
⑪公表	個人情報保護を確保したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	田代 裕尊	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構 呉医療センター 外科			

国立病院機構 呉医療センター院長